

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 昭和医療技術専門学校 |
| 設置者名 | 医療法人社団 昭和育英会 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|--------------|------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 医療専門課程（医療関係） | 臨床検査技師科 昼間部（3年制） | 夜・通信 | 106単位 | 3×3=9単位 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| | | 夜・通信 | | | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 (https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryu/pdf/info-disclosure/info-disclosure_001.pdf) |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|--|
| 学校名 | |
| 設置者名 | |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|--|
| |
|--|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|--------|----|---------------------|
| | | | |
| | | | |
| (備考) | | | |

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 昭和医療技術専門学校 |
| 設置者名 | 医療法人社団 昭和育英会 |

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

| | |
|----|---|
| 名称 | 運営委員会 |
| 役割 | 学校の運営に関する事項 予算及び決算に関する事項 学則及び学校の諸規定についての制度、改廃に関する事項 学生の定数ならびに募集に関する事項 校舎・設備の改廃に関する事項 その他管理運営に関する事項 |

2. 外部人材である構成員の一覧表

| 前職又は現職 | 任期 | 備考（学校と関連する経歴等） |
|--------|-----------------------------|---------------------|
| 病院長 | 2022. 4. 1 ~ 2024. 3. 31 | 教育内容・学科編成に対する専門的な知見 |
| 税理士 | 2022. 4. 1 ~ 2024. 3. 31 | 組織運営体制へのチェック機能 |
| (備考) | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 昭和医療技術専門学校 |
| 設置者名 | 医療法人社団 昭和育英会 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 臨床検査技師科 昼間部 (3年制) | |
| <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度、臨床検査技師科の学内会議により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき、各授業を担当する教員により作成を行っている。授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の一般目標及び到達目標、講義概要、授業計画、学習方法、評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は12月～2月に担当教員が作成し、3月の会議で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。4月中旬に、今年度分のシラバスをHP上に公開する。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.showa.ac.jp/subject/ |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) | |
| <p>学則・細則において、学内の成績評価、履修、卒業案件について規定している。授業科目の試験(レポート含む)により成績評価を行っている。</p> <p>(参考)</p> <p>学則第5章第30条(卒業)</p> <p>校長は所定の単位をすべて履修した者に卒業を認める。</p> <p>学則第5章第22条(学業成績)</p> <p>学業成績は学科試験及び実習並びに平素の成績により評定し、優・良・可・不可をもって表わし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。</p> | |

| | |
|---|--|
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第5章において、学業成績は学科試験及び実習並びに平素の成績により評定し、優・良・可・不可をもって表わし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。評価点数により100～80点を優・79～65点を良・64～60点を可・60点未満を不可として成績が通知される。各試験の成績は一科目100点満点として60点以上を合格とする。</p> <p>全科目の点数の和を全科目数で割り、平均化して全体評価として使用している。</p> <p>試験は定期試験及び臨時試験の区別により、校長が定める学科目並びに実習について行なう。定期試験は学期末試験とする。</p> <p>当校では、就職の学内推薦枠の候補者選抜や、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。</p> <p>成績評価方法については、学則をHPで公開するほか、入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知している。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_010.pdf</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>和医療技術専門学校は、東京都内で唯一の臨床検査技師教育に特化した実績ある伝統校として、人間性豊かな医療人を育成し、その意義をもって社会に貢献することを目的としている。</p> <p>卒業案件については、所定の全授業科目を所定の年次にすべて合格することを定めている。詳細については、学則、学則細則に記載している。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_002.pdf</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|--------------|
| 学校名 | 昭和医療技術専門学校 |
| 設置者名 | 医療法人社団 昭和育英会 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_005.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_006.pdf |
| 財産目録 | https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_007.pdf |
| 事業報告書 | https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_008.pdf |
| 監事による監査報告（書） | https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_009.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---------------|-------|---------------|------|----|
| 医療関係 | | 医療専門課程 | 臨床検査技師科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 114 単位時間/単位 | 78 単位時間/単位 | | 37 単位時間/単位 | | |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 240人 | | 105人 | 人 | 10人 | 人 | 人 | |

| |
|---------------------------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |

| |
|--|
| <p>(概要) 様式第2号の3に記載した内容を参照</p> |
| <p>学修支援等</p> |
| <p>(概要) 講義内容のまとめプリントや講義内容の修得状況チェックのためのミニテストを行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。</p> |

| | | | |
|---|--------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 36人 (100%) | 1人 (2.8%) | 34人 (94.4%) | 1人 (2.8%) |
| (主な就職、業界等) 病院、医療業界 | | | |
| (就職指導内容) 卒業生からアドバイスを得られる就職説明会2回、履歴書添削、面接講座、面接練習 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 臨床検査技師、毒物劇物取扱者、応急手当普及員、遺伝子分析科学認定士 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|---|----------------|-------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 134人 | 27人 | 20.1% |
| (中途退学の主な理由) 学力不足、進路変更等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員等と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受けている。また保護者への聞き取りや本人の希望・適正についても聞き取りを行っている。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|----------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 臨床検査 技師科 (3年制) | 200,000 円 | 650,000 円 | 550,000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|---|----------------------------|----|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価を、学校 HP にて公開 https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_003.pdf | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、教育関係有識者、医療現場関係者、非常勤講師等を含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は臨地実習施設担当者連絡会議、講師会、教務委員会等で報告し、次年度以降の改善に取り組んでいる。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 大学教員 | 2022. 4. 1～ 2024. 3. 31 | 大学 |
| 企業代表 | 2022. 4. 1～ 2024. 3. 31 | 企業 |
| 企業役員 | 2022. 4. 1～ 2024. 3. 31 | 企業 |
| 病院職員 | 2022. 4. 1～ 2024. 3. 31 | 病院 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価を、学校 HP にて公開 https://www.showa.ac.jp/showa_cms/wp-content/themes/showa-iryo/pdf/info-disclosure/info-disclosure_004.pdf | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.showa.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|-------|---------------|
| 学校コード | H113311100114 |
| 学校名 | 昭和医療技術専門学校 |
| 設置者名 | 医療社団法人 昭和育英会 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|--------------------|------|-----|-----|-----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） | | 13人 | 14人 | 14人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | － | － | |
| | 第Ⅱ区分 | － | － | |
| | 第Ⅲ区分 | － | － | |
| 家計急変による支援対象者（年間） | | | | 0人 |
| 合計（年間） | | | | |
| (備考) | | | | |

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | | | |
|---|---------|---|-----|
| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | 0人 | | |
| 修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下) | 0人 | | |
| 出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況 | 0人 | | |
| 「警告」の区分に連続して該当 | — | | |
| 計 | — | | |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

| | | | |
|---------|---|-----|-----|
| 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | | |
| 年間 | 0人 | 前半期 | 後半期 |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|--|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下) | 0人 | | |
| GPA等が下位4分の1 | — | | |
| 出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況 | 0人 | | |
| 計 | — | | |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。